

でれたん・1

公園にあんきらみたいな二人いてあんきらみたいな幸せがある

三村からかな子にいたる空白に食べるお菓子が一番甘い

悲しみを塗り替える絵を描いている できたらいいねライラさんも

迷っても君自身は光ってる一緒に道を探そうほたる

世界中全てのことを肯定し受け入れるのは確かに世界

暗闇を壊せるような大声で進めるはずさ恵磨のタマシイ

いつだって前に進める瞳の子空へと昇る二人三脚

笑顔なら笑顔なんて頑張ってガラスの靴でハイジャンプして

星間を通勤列車で走り抜けウサギは今日も一等星に

この短歌を誰か見たんか 少しでも酔わせるような自身があつて

これはパン輝いているあれもパン君もパンなら私もパンだ

スパシーバいつも誰かに寄り添ってそしていつでも恒星として

何度でも闇に飲まれる世界ではいつも蘭子の靴が光って

花束を作ってほしいでできるなら君の蒼さを真ん中にして

出来るならなおかれみたいなバランスの二匹の猫を家族にしたい

ドーナツはどこから見てもおんなじで全部ドーナツそういうことだ

もしまゆを好きになったならまゆの好きな人も含めて好きになるから

本当はカワイイ君にカワイイを言い続けたい意地悪したい

少しだけ君のキモチに近づいて何かになれそーでござーます

時子様ああ時子様時子様永遠よりも瞬間の夢

最高の眼鏡をくれた君だから眼鏡の奥も覗いてあげる

少し今翼が生えたようだった珠美殿が大きく見えた

たった今またもらったよプレゼント困り眉からこぼれる笑顔

ギター弾くギター弾くふり二人には二人だけのロックが鳴って

いつまでもそなたと呼んでほしいから少しだけホラ吹いてしまおうよ

フレちゃんは定型とか気にしないからねーフフフーンフフフーン

優しさは特攻服でやってくる困ったときはどうぞ夜露死苦

情熱はいつだって回ってる果物だってお寿司になって

輝きが柔らかく溢れてる見逃すなんてむーりいだよ

でれたん-1

発行 2019年2月10日

著者 金本月子

フォント MSゴシック